車載用 FM トランスミッター LAT-FM110U（充電機能付） LAT-FM050 取扱説明書

このたびは車載用 FM トランスミッター「LAT-FM110U / LAT-FM050」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全に使用するために、本書を必ずお読みくださるようお願い申し上げます。
また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管してください。

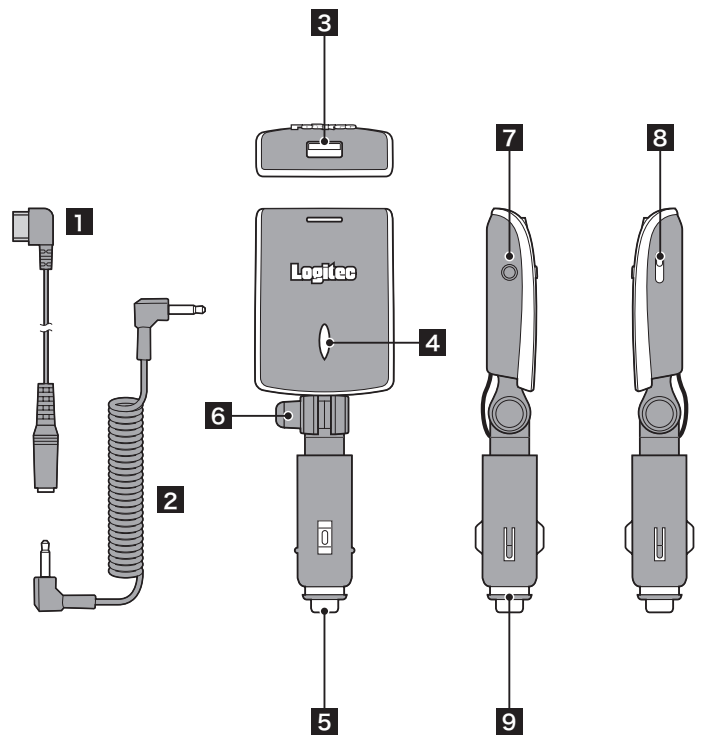
製品の特長

本製品は、iPod などのポータブルオーディオ機器や携帯電話と接続して、自動車内で手軽にオーディオ再生を楽しめる車載用 FM トランスミッターです。

- 電源はシガーソケット（12V車専用）から供給し、オーディオデータはFM波を利用して、ワイヤレスでカーオーディオに転送するので、面倒な車内配線がいりません。
- 操作部とシガーソケット部が可動式のジョイントで接続され、上下方向に180°の範囲で角度調節ができます。
- FMトランスミッターの送信周波数を「88.3/88.5/88.7/88.9MHz」のいずれかに設定できるので、受信状態のよい周波数を選択することができます。
- 充電用にUSBコネクタが搭載されているので（LAT-FM110Uのみ）、USBコネクタ経由での充電に対応している機器に充電することができます。再生と同時に充電を行えば、プレーヤーのバッテリ残量を気にせずに音楽を楽しめます。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下のものが含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- FMトランスミッター本体　1台
- ステレオミニプラグケーブル（カールコード）　1本
- オーディオ変換ケーブル（4極平型端子：約10cm）　1本
- 取扱説明書／保証書（本書）　1枚

取り扱い上の注意

■正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

危険　ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、または物的損害を負う危険性が差し迫って生じる項目です。

●走行中に設定操作を行わないでください。
運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。
本製品の操作は、必ず車が停止した状態で周囲の安全を確認してから行ってください。

警告　ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、または物的損害を負う危険性がある項目です。

●万一、異常が発生したときは…
本製品から異臭や煙が出たときは、ただちにシガーソケットから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

●修理・改造・分解しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因となります。修理は、弊社修理サポートセンターへご依頼ください。

●接続に使用するコードを傷つけないでください。
火災や断線の原因となります。

注意　ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある項目です。

●エンジン始動時、本製品は取り外しておいてください。
車種によっては、エンジン始動時に瞬間的に規定以上の電圧が供給される場合があります。故障を避けるため、本製品はエンジン始動後に接続してください。

●水気の多い場所での使用／保管は行わないでください。
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

●シガーソケットの形状をご確認ください。
外国産車や国産車の一部には、本製品とシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。

■その他：こんなことにも注意してください

- 本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用した製品です。車載アンテナの種類、車内環境、走行環境、混信により、本製品から出力された FM 電波をカーステレオ側が正常に受信できない状態となることがあります。その場合、ノイズ、音のひずみ、音の途切れ、受信不能状態等が発生する場合があります。
- シガーライター付近に段差などがあり、本製品を十分に差し込めない場合、市販の分配／延長ソケットをお買い求めください。
- 本製品は 12V 車専用です。24V 車では使用できません。
- 本製品はマイナスアース車専用です。プラスアース車では使用できません。
- 衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
- 本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- 温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- 車種によっては、キーを抜いてもシガーソケットから電源が供給され、バッテリ上がりの原因となる場合があります。ご使用のお車がこのタイプの場合、お車から離れる際は、必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。
- 本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

■車内設置時の注意

- 車内は高温になる場合がありますので、車内に放置しないでください。

■車載用アンテナについて

本製品は、FM トランスミッター内蔵のアンテナから FM 電波を発信し、車載用アンテナで受信して、カーステレオで再生することで音楽等の視聴を行います。したがって、FM 電波受信感度やノイズの発生に関しては、車載用アンテナの構造や設置位置が大きく影響します。
車載用アンテナには、大きく分けて次のタイプのアンテナがあります。

- ルーフアンテナ（屋根の前端か後端に設置され、樹脂コートされているタイプ）
- ピラーアンテナ（A ピラーに内蔵されていて、金属製アンテナを手動で引き出すタイプ）
- ガラスアンテナ（リアウィンドウやリアサイドウィンドウ等に貼られている、フィルム状のタイプ）
- ロッドアンテナ（昇降装置付きで、SUV などに多く見られるタイプ）

弊社で行った東京都心部における動作検証では、以下の順で受信状態が良いことが確認されています。
ロッドアンテナ ＞ ピラーアンテナ ＞ ルーフアンテナ

注意
ガラスアンテナは、車のグレードによる差が大きく、比較が困難です。また、動作検証は特定の車種で行い、本製品は運転席と助手席の間に設置しています。検証結果は、すべての自動車／走行環境での受信状態を保証するものではありません。
（上記は弊社調べ。自動車メーカーにより、呼称や構造は異なります）

各部の名称と役割

1 オーディオ変換ケーブル
携帯電話（4極平型端子）と接続するときに使用します。付属の 2 ステレオミニプラグケーブルと接続します。

2 ステレオミニプラグケーブル
iPod などのポータブルオーディオ機器のイヤホンジャックに接続します。携帯電話を接続する場合は、付属の 1 オーディオ変換ケーブルのステレオミニジャックに接続してください。

3 USB シリーズ A コネクタ（LAT-FM110U のみ）
USB 経由での充電機能を持つポータブルオーディオ機器の充電コネクタと接続します。USB コネクタ経由で音楽データを再生することはできません。

4 電源ボタン（兼電源ランプ）
2 秒以上の長押しで電源が ON になり点灯（青色）します。OFF にするときも同様に 2 秒以上長押しします。
LAT-FM110U の場合：イルミネーション機能により、押すたびにランプの色が青色→赤色→紫色→消灯になります。
※ここでの「消灯」は、ランプが消灯している状態を指しており、本製品の電源が OFF になるわけではありません。消灯の状態でも、電源ボタンを 2 秒以上長押しすることで本製品の電源が OFF になります。
LAT-FM050 の場合：青色に点灯します。

5 シガープラグ
自動車内のシガーソケット（12V 専用）に接続します。

6 角度調節固定ボタン
操作部の角度を 180°の範囲で調節します。
＜角度の調節方法＞
ボタンを押しながら、角度を調節します。

7 ステレオミニジャック
付属の 2 ステレオミニプラグケーブルを接続します。

8 周波数切替スイッチ
音楽データを送信するときに周波数を切り替えるスイッチです。上から、88.3、88.5、88.7、88.9 MHz の周波数になります。

9 スクリューキャップ
本製品にはヒューズが内蔵されており、スクリューキャップを反時計回りに回すことにより交換可能です。（内部にバネが組み込まれております。取り外しの際は部品の紛失にご注意ください。）
本製品をシガーソケットに差し込む前に、スクリューキャップを時計回りに回し、ゆるみ等がないことを確認してください。

使いかた

1. お車のエンジンを始動したあと、シガーソケットに本製品を接続します。

   本製品は、お車のエンジンを始動したあとに接続してください。

   本製品の電源が自動的に ON になります。

2. ポータブルオーディオ機器や携帯電話などの音楽再生機器を本製品に接続します。
   接続方法については、お使いの音楽再生機器によって異なります。「接続のしかた」を参照してください。
3. 周波数切替スイッチで使用する周波数を設定します。
4. カーオーディオ側のチャンネルを FM に合わせ、本製品で設定した周波数に合わせます。
5. ご使用の音楽再生機器の再生ボタンを押すと、再生が開始されます。

■ご注意

適切な音量に設定されていないと、音が割れて聞こえたりノイズが入ったりする場合があります。再生される音質が気になる場合は、以下のことをお試しください。

1. 受信可能な任意の FM 局にチャンネルを合わせて、カーオーディオ側で音量を調節します。
2. 周波数を本製品で設定している周波数に合わせます。
3. ご使用の音楽再生機器で音量を調整します。
4. ノイズ等が入ったりする場合は、別の周波数にてご調整ください。

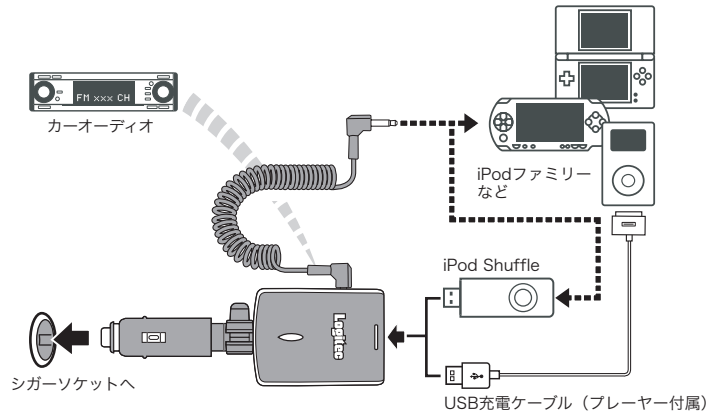
接続のしかた

■再生・充電が同時にできる接続例（LAT-FM110U のみ）

＜ iPod シリーズ（G4 以降、iPod mini、iPod nano、iPod Shuffle)、Sony NW-A3000、NW-A1000 シリーズ、SONY PSP、NINTENDO DS Light 等＞

1 本製品のステレオミニプラグをポータブルオーディオ機器のステレオミニジャックに接続します。
再生と同時に充電を行う場合には、USB ケーブルで本製品とポータブルオーディオ機器を接続します。

2 周波数切替スイッチで周波数を合わせます。

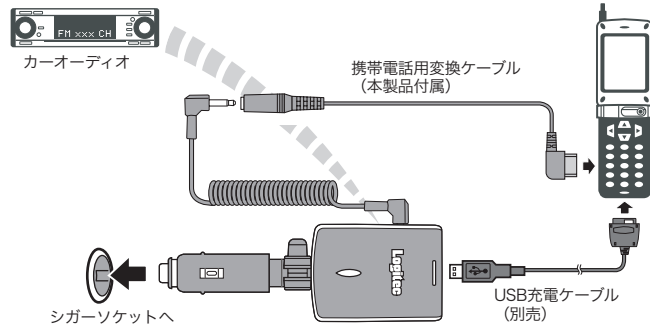
3 ポータブルオーディオ機器を操作して、ポータブルオーディオ機器に保存された音楽データを再生します。

NINTENDO DS Light および PSP は、別途市販の USB 充電ケーブルが必要です。
NINTENDO DS Light で音楽を聴く場合は、別途音楽再生ソフトが必要になります。

＜携帯電話＞

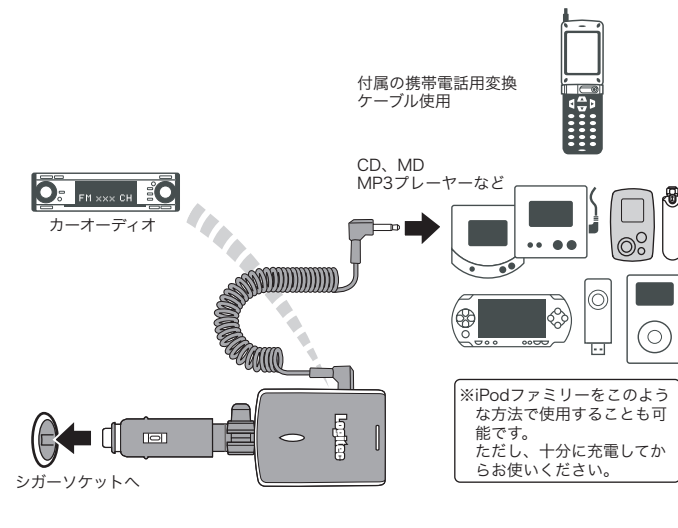
1 オーディオ変換ケーブルを使用して、本製品のステレオミニプラグと携帯電話の４極平型コネクタを接続します。

2 周波数切替スイッチで周波数を合わせます。

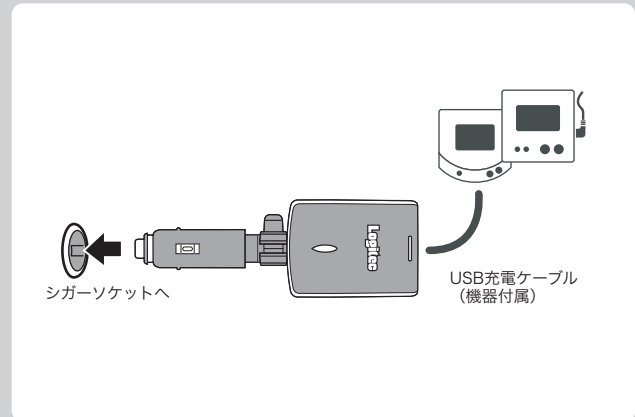
3 携帯電話を操作して、携帯電話に保存された音楽データを再生します。
※別売の USB 充電ケーブルを使用して携帯電話を充電することも可能です。

オプション品について
弊社では、携帯電話用 USB 充電ケーブルをオプション品として取り扱っています。
オプション品は、ロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」(http://www.logitec-direct.jp) またはお買い求めいただいた販売店にてお求めください。

■再生のみ可能な接続例（LAT-FM110U / LAT-FM050）

1 本製品のステレオミニプラグをポータブルオーディオ機器のステレオミニジャックに接続します。

2 周波数切替スイッチで周波数を合わせます。

3 ポータブルオーディオ機器を操作して、ポータブルオーディオ機器に保存された音楽データを再生します。

充電が可能な機器について
ポータブルオーディオ機器の中には、USB コネクタ経由での充電をサポートしている機種もあります。そのような機種を充電する場合には、機器側に付属の USB 充電ケーブルを使用して本製品の USB コネクタ経由での充電が可能です（max. 5V/700mA)。なお、再生と同時に充電が可能かどうかについては、ご使用の機器により異なります。詳しくは、機器に付属の取り扱い説明書を参照してください。

注意
製品によっては、内蔵電池の電圧が低くなっているときに充電ができない場合があります。その場合、製品付属の充電器で一度充電を行ってください。
充電する機器によっては、電源を OFF にしなければ、充電できない機種もあります。
その場合は、充電機器の電源を OFF にして充電を行ってください。
USB 充電機器すべてを保証するものではありません。

製品仕様

製品名		LAT-FM110U	LAT-FM050
変調方法		FM ステレオ変調　パイロットトーン方式	
送信周波数		88.3MHz/88.5MHz/88.7MHz/88.9MHz（切替スイッチによる切替式）	
指向性		無指向性	
コネクタ形状		USB シリーズ A（メス）	ステレオミニジャック
		ステレオミニジャック	
動作時環境条件	温度	0℃〜60℃	
	相対湿度	5%〜95%（ただし結露なきこと）	
入力電圧		DC+12V（シガーソケットより供給）	
消費電力（定格）		4W	
外形寸法		43.7 (W) ×22.5 (D) ×152.2 (H) mm	
質量		75g	70g

ユーザー登録のお願い

弊社ホームページよりユーザー登録が可能ですので、ご登録いただくことをおすすめいたします。
http://www.logitec.co.jp/
インターネットをご利用できない方は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

困ったときは ...

●修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。（故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。）
●修理をご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

①お名前、住所、電話番号
②保証書に記載された機種名、シリアル No.
③故障の状態、接続形態、使用ソフトウェア（なるべく詳しく）

●保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

本製品のお問合せ先
製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

ロジテック株式会社 テクニカルサポート
〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原 8268
TEL. 0570-022-022　FAX. 0570-033-034
受付時間　：9：00〜12：00、13：00〜18：00
営業日　：月曜日〜金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

弊社修理受付窓口（修理品送付先）
〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原 8268
ロジテック株式会社　修理サポートセンター（３番受入窓口）
TEL. 0265-74-1423　FAX. 0265-74-1403
受付時間　：9：00〜12：00、13：00〜17：00
営業日　：月曜日〜金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※弊社 Web サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。
※お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただきますよう、お願いいたします。

保証規定

■保証内容

製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理を致します。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただき、添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■保証適用外事項

保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。

1. 本保証書の提示をいただけない場合。
2. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
3. お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合。
4. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、または異常電圧等による故障、損傷の場合。
5. 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
6. 弊社および弊社が指定するサービス機関以外で、修理、調整、改良された場合。
7. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。

■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。